

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

上場取引所 東

コード番号 8462 URL <http://www.fvc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今庄 啓二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長 (氏名) 赤松 典昭

TEL 075-257-2511

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	380	34.6	△299	—	△319	—	△87	—
25年3月期第3四半期	282	△29.0	△407	—	△429	—	66	△76.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △509百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △256百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△14.17	—
25年3月期第3四半期	10.86	—

(注) 平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,816	3,890	4.2
25年3月期	5,498	4,554	6.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 200百万円 25年3月期 359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の配当については、未定といたします。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

当社は、その事業特性から株式市場の影響を強く受け、また投資損失引当金繰入額・強制評価損等が業績に与える影響が大きいため、業績予想を合理的に行うことは困難であります。したがって、業績予想は行わず、決算後可能な限り迅速な開示をすることといたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 投資事業有限責任組合えひめベンチャーファンド2013、除外 4社 (社名)

石川県ベンチャー育成投資事業有限責任組合、いわてベンチャー育成投資事業有限責任組合、フューチャー四号投資事業有限責任組合、フューチャー五号投資事業有限責任組合

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	6,153,400 株	25年3月期	6,125,900 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,200 株	25年3月期	1,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	6,147,965 株	25年3月期3Q	6,124,700 株

(注)平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
5. 補足情報	8
(1) 投資の状況	8
(2) 投資先企業の上場状況	8
(3) 投資事業組合の状況	9
(4) 四半期個別財務諸表	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政策主導の円安進展を受けた輸出増、為替差益による企業業績の回復、それを見越した株高に起因する個人消費の回復が続いており、消費税率引き上げに伴う今後の需要減は見込まれるものの、総じて順調に推移しました。

株式市場におきましては、日経平均株価は5月にかけて16千円まで上昇して過熱感が膨らんだ後、13千円台まで下落しましたが、企業の好業績を背景に再上昇し、16千円を超える水準で着地しました。

新規上場市場におきましては、当第3四半期連結累計期間における新規上場社数が45社と、前年同期41社より増加し、かつ新規上場した会社の大半で初値が公募価格以上となる等、新規上場を目指す企業群にとっては期待感の強まる環境が形成されつつあります。

このような環境の中、当社の投資先では6月の(株)ジェイエスエス、9月の(株)アドメテックに続き、12月には(株)ダイキアクシスが東証2部に上場いたしました。また、上記のうち2社を含む投資先企業6社が上場した投資事業有限責任組合えひめベンチャーファンド2004の後継ファンドとして、投資事業有限責任組合えひめベンチャーファンド2013を新たに設立いたしました。なお、経費水準の抑制についても引き続き注力しており、営業損失を計上する状態にあるものの、前連結会計年度に続き、資金拠出を伴わない費用を除いた販売費及び一般管理費などの固定的な支出は投資事業組合からの管理報酬を中心とした安定的な収入によって賄っております。

当第3四半期連結累計期間における経営成績を見てまいりますと、(株)ジェイエスエス上場に伴う株式売出の影響等により、売上高は380百万円(前年同四半期282百万円)に増加し、投資損失引当金の新規繰入額が減少したこと等から、経常損失は319百万円(同429百万円)となりました。一方、前年同四半期においては、当社が管理・運営する投資事業組合の持分を評価額以下で譲り受けたこと等により特別利益を計上したものの、当四半期においては特殊要因がなかったことから、少数株主損失控除後の四半期純損失は、87百万円(同66百万円の純利益)となりました。

(営業収益の内訳)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	金額	比率(%)	金額	比率(%)
営業投資有価証券売上高	266,041	94.0	356,099	93.5
コンサルティング収入	13,288	4.7	19,921	5.2
その他	3,658	1.3	4,975	1.3
合計	282,989	100.0	380,996	100.0

<営業投資有価証券売上高>

当第3四半期連結累計期間における営業投資有価証券売上高は、(株)ジェイエスエス上場に伴う株式売出の影響等により、356百万円(前年同四半期266百万円)と、前年同期に比べ90百万円の増収となりました。

(営業投資関連損益の状況)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	増減
営業投資有価証券売上高	266,041	356,099	90,057
営業投資有価証券売却額 (上場)	9,547	190,906	181,359
営業投資有価証券売却額 (未上場)	240,561	146,139	△94,421
営業投資有価証券利息・配当金	15,933	19,053	3,119
営業投資有価証券売上原価	188,751	317,621	128,869
営業投資有価証券売却原価 (上場)	9,447	225,697	216,250
営業投資有価証券売却原価 (未上場)	215,159	161,459	△53,700
(係る投資損失引当金戻入額(△))	(△35,855)	(△69,534)	(△33,679)
減損等	2,199,210	683,562	△1,515,648
(係る投資損失引当金戻入額(△))	(△2,067,186)	(△517,839)	(1,549,347)
投資損失引当金繰入額	131,060	△36,563	△167,624
営業投資関連損失(△)	△185,794	△90,681	95,112

(注) 当第3四半期連結累計期間末における営業投資有価証券に対する投資損失引当金の割合は、18.5%(前連結会計年度末26.6%)となりました。

<コンサルティング収入>

当第3四半期連結累計期間におけるコンサルティング収入は、19百万円(前年同四半期13百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産、負債及び純資産の状況]

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、4,816百万円(前連結会計年度末5,498百万円)となりました。その内訳は流動資産4,778百万円(同5,461百万円)、固定資産38百万円(同36百万円)です。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、925百万円(同944百万円)となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純損失87百万円を計上したこと、少数株主持分が501百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金のマイナス幅が78百万円拡大したこと等に伴い、3,890百万円(同4,554百万円)となりました。なお、純資産には投資事業組合の組合員の持分である少数株主持分等が含まれるため、これらを控除して算出した自己資本は200百万円(同359百万円)であることから、自己資本比率は4.2%(同6.5%)となっています。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、業績予想を行っておりません。詳細は、サマリー情報「3. 平成26年3月期の連結業績予想」のとおりであります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年4月17日に当社の特定子会社である石川県ベンチャー育成投資事業有限責任組合が全財産の分配を完了したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

平成25年6月5日に当社の特定子会社であるいわてベンチャー育成投資事業有限責任組合が全財産の分配を完了したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

平成25年7月12日に当社の特定子会社であるフューチャー四号投資事業有限責任組合が全財産の分配を完了したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

平成25年8月30日に当社の特定子会社である投資事業有限責任組合えひめベンチャーファンド2013を設立したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に追加しております。

平成25年12月13日に当社の特定子会社であるフューチャー五号投資事業有限責任組合が全財産の分配を完了したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

この結果、平成25年12月31日現在では、当社グループは、当社、子会社21社により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前連結会計年度に当期純利益を計上したものの、通算して7期連続で営業損失を計上し、当第3四半期連結累計期間においても、営業損失を計上しており、当社が将来にわたって事業活動を継続する前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。しかしながら、当社が計上いたしました損失の主な要因は、当社が管理・運営する投資事業組合において発生している営業投資有価証券売却損失及び投資損失引当金繰入等であり、これらの損失及び費用は、投資事業組合において発生しているため、資金流出を伴わないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は存在しないものと考えております。ただし、投資事業組合において発生しているこれらの損失及び費用は、自己資本の毀損を通じて当社の信用力や上場維持、今後の事業展開等に悪影響を及ぼす可能性があります。そこで当社では、当社の本業であるベンチャー投資事業を補強し、かつ市場環境の変化に過度に左右されない収益構造の実現に寄与する新規事業の拡大を進めております。これにより収益力を強化することと合わせて、引き続き経費水準を抑制することで、営業損益の黒字化を図ります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,824,974	1,715,145
営業投資有価証券	4,930,074	3,718,581
投資損失引当金	△1,312,412	△688,474
その他	25,771	39,740
貸倒引当金	△6,977	△6,916
流動資産合計	5,461,430	4,778,077
固定資産		
有形固定資産	6,988	6,144
無形固定資産	1,926	4,408
投資その他の資産	28,001	28,010
固定資産合計	36,915	38,564
資産合計	5,498,346	4,816,641
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	92,495	85,380
預り金	2,908	57,506
繰延税金負債	2,023	2,424
未払法人税等	12,909	7,943
賞与引当金	6,029	2,806
その他	16,384	21,312
流動負債合計	132,750	177,373
固定負債		
長期借入金	782,155	725,235
退職給付引当金	29,398	23,256
固定負債合計	811,553	748,491
負債合計	944,303	925,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,048,609	2,051,991
資本剰余金	763,059	766,441
利益剰余金	△2,449,962	△2,537,050
自己株式	△2,172	△2,172
株主資本合計	359,533	279,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△330	△79,088
その他の包括利益累計額合計	△330	△79,088
新株予約権	16,592	13,735
少数株主持分	4,178,246	3,676,919
純資産合計	4,554,042	3,890,776
負債純資産合計	5,498,346	4,816,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高		
営業投資有価証券売上高	266,041	356,099
コンサルティング収入	13,288	19,921
その他の売上高	3,658	4,975
売上高合計	282,989	380,996
売上原価		
営業投資有価証券売上原価	2,423,817	1,070,718
投資損失引当金戻入額(△)	△1,971,980	△623,937
その他の原価	134,560	136,065
売上原価合計	586,396	582,846
売上総損失(△)	△303,407	△201,849
販売費及び一般管理費	103,970	97,642
営業損失(△)	△407,377	△299,492
営業外収益		
受取利息及び配当金	498	866
その他	2,194	1,563
営業外収益合計	2,692	2,430
営業外費用		
支払利息	24,287	22,013
その他	716	281
営業外費用合計	25,003	22,295
経常損失(△)	△429,688	△319,356
特別利益		
負ののれん発生益	199,560	—
特別利益合計	199,560	—
特別損失		
固定資産除却損	66	299
有価証券評価損	112	26
特別損失合計	178	326
税金等調整前四半期純損失(△)	△230,306	△319,683
法人税、住民税及び事業税	16,898	10,220
法人税等合計	16,898	10,220
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△247,205	△329,903
少数株主損失(△)	△313,730	△242,815
四半期純利益又は四半期純損失(△)	66,524	△87,087

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△247,205	△329,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,359	△179,697
その他の包括利益合計	△9,359	△179,697
四半期包括利益	△256,564	△509,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,690	△165,846
少数株主に係る四半期包括利益	△322,254	△343,755

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 投資の状況

当第3四半期連結累計期間における当社の投資実行の状況は、5社、79百万円（前年同四半期4社、164百万円）となりました。また、当第3四半期連結会計期間末における投資残高は86社、3,718百万円（前連結会計年度末90社、4,930百万円）となりました。

①証券種別投資実行額

証券種類	投資実行額			
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	金額(千円)	投資企業数(社)	金額(千円)	投資企業数(社)
株式	129,800	4	48,470	5
社債等	35,000	2	31,008	3
合計	164,800	4	79,478	5

(注) 投資企業数の合計値は、株式、社債等双方に投資している重複社数を調整しております。

②証券種別投資残高

証券種類	投資残高			
	前連結会計年度末 (平成25年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (平成25年12月31日)	
	金額(千円)	投資企業数(社)	金額(千円)	投資企業数(社)
株式	4,384,765	78	3,145,264	73
社債等	545,309	24	573,317	27
合計	4,930,074	90	3,718,581	86

(注) 投資企業数の合計値は、株式、社債等双方に投資している重複社数を調整しております。

(2) 投資先企業の上場状況

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

当第3四半期連結累計期間において上場した投資先企業は、以下の3社であります。

	会社名	公開年月	公開市場	主要業務	本店所在地
国内 3社	株式会社ジェイエスエス	平成25年6月	JASDAQ (スタンダード)	スイミングスクールの運営、 指導業務の受託及び水着等の 販売	大阪府
	株式会社アドメテック	平成25年9月	TOKYO PRO Market	癌及び腫瘍等の治療・診断技 術の開発及び製造販売等	愛媛県
	株式会社ダイキアクシス	平成25年12月	東証2部	浄化槽をはじめとする各種水 処理設備の製造・施工・販売 及び維持管理及び住宅関連商 材の販売等	愛媛県

(3) 投資事業組合の状況

当第3四半期連結会計期間末の当社が管理・運営する投資事業組合は21組合、23,767百万円(前連結会計年度末25組合、27,658百万円)となりました。

	前連結会計年度末 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成25年12月31日)
投資事業組合出資金総額 (百万円)	27,658	23,767
投資事業組合数 (組合)	25	21

- (注) 1. 子ファンドは含めておりません。
 2. 「投資事業組合出資金総額」は、コミットメント総額であります。
 3. 以下1組合は、期間満了により解散いたしました。当第3四半期連結会計期間末においては清算期間中であるため、投資事業組合出資金総額及び投資事業組合数に含めております。
 ・フューチャー六号投資事業有限責任組合(期間満了日：平成24年7月28日)

①出資金総額が増加した投資事業組合

当第3四半期連結累計期間において出資金総額が増加した投資事業組合は、以下の2組合であります。
 (単位：百万円)

投資事業組合名	増加した出資金額	増加の理由
もりおか起業投資事業有限責任組合	50	追加出資
投資事業有限責任組合えひめベンチャーファンド2013	500	新規設立
合計(2組合)	550	

②出資金総額が減少した投資事業組合

当第3四半期連結累計期間において出資金総額が減少した投資事業組合は、以下の5組合であります。
 (単位：百万円)

投資事業組合名	減少した出資金額	減少の理由
フューチャーエンジェル一号投資事業有限責任組合	81	全財産の分配完了
石川県ベンチャー育成投資事業有限責任組合	1,500	全財産の分配完了
いわてベンチャー育成投資事業有限責任組合	1,000	全財産の分配完了
フューチャー四号投資事業有限責任組合	1,150	全財産の分配完了
フューチャー五号投資事業有限責任組合	710	全財産の分配完了
合計(5組合)	4,441	

(4) 四半期個別財務諸表

四半期財務諸表は法定開示におけるレビューの対象ではありません。

「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に従い作成しております。

①四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	439,656	324,807
営業投資有価証券	1,246,112	907,547
投資損失引当金	△302,688	△171,752
その他	45,946	24,271
貸倒引当金	△7,001	△6,916
流動資産合計	1,422,025	1,077,958
固定資産		
有形固定資産	6,988	6,144
無形固定資産	1,926	4,408
投資その他の資産	28,001	28,010
固定資産合計	36,915	38,564
資産合計	1,458,941	1,116,522
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	92,495	85,380
未払法人税等	12,909	7,943
前受金	89,551	25,729
賞与引当金	6,029	2,806
その他	58,725	26,506
流動負債合計	259,711	148,365
固定負債		
長期借入金	782,155	725,235
退職給付引当金	29,398	23,256
長期未払金	28,326	22,326
固定負債合計	839,880	770,818
負債合計	1,099,591	919,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,048,609	2,051,991
資本剰余金		
資本準備金	763,059	766,441
資本剰余金合計	763,059	766,441
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△2,466,408	△2,553,569
利益剰余金合計	△2,466,408	△2,553,569
自己株式	△2,172	△2,172
株主資本合計	343,087	262,691
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△330	△79,088
評価・換算差額等合計	△330	△79,088
新株予約権	16,592	13,735
純資産合計	359,350	197,337
負債純資産合計	1,458,941	1,116,522

②四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高		
投資事業組合管理収入	237,100	220,034
営業投資有価証券売上高	51,880	102,313
コンサルティング収入	13,288	19,921
その他の売上高	3,726	5,205
売上高合計	305,995	347,474
売上原価		
営業投資有価証券売上原価	490,433	242,934
投資損失引当金戻入額(△)	△431,348	△130,936
その他の売上原価	192,753	199,575
売上原価合計	251,838	311,573
売上総利益	54,157	35,901
販売費及び一般管理費	101,794	94,962
営業損失(△)	△47,637	△59,061
営業外収益	2,336	1,701
営業外費用	25,003	22,295
経常損失(△)	△70,304	△79,654
特別利益	199,560	—
特別損失	63,834	326
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	65,421	△79,980
法人税、住民税及び事業税	8,249	7,180
四半期純利益又は四半期純損失(△)	57,172	△87,161